

2024年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日実施) 成績参考資料

【プレテスト全体結果】

平均得点

教科	得点
国語	79.8
算数	73.2
国算計	153.1

受験者数	382
欠席者数	66

【6年選抜コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	193	69	103.3	118.1	221.4	65.0
B(合格可能圏)	170	67	88.4	92.1	180.4	56.0
C(有望圏)	141	89	83.8	71.7	155.4	50.5

【6年進学コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	170	136	95.9	105.3	201.2	60.5
B(合格可能圏)	141	89	83.8	71.7	155.4	50.5
C(有望圏)	110	91	71.1	55.5	126.6	44.2

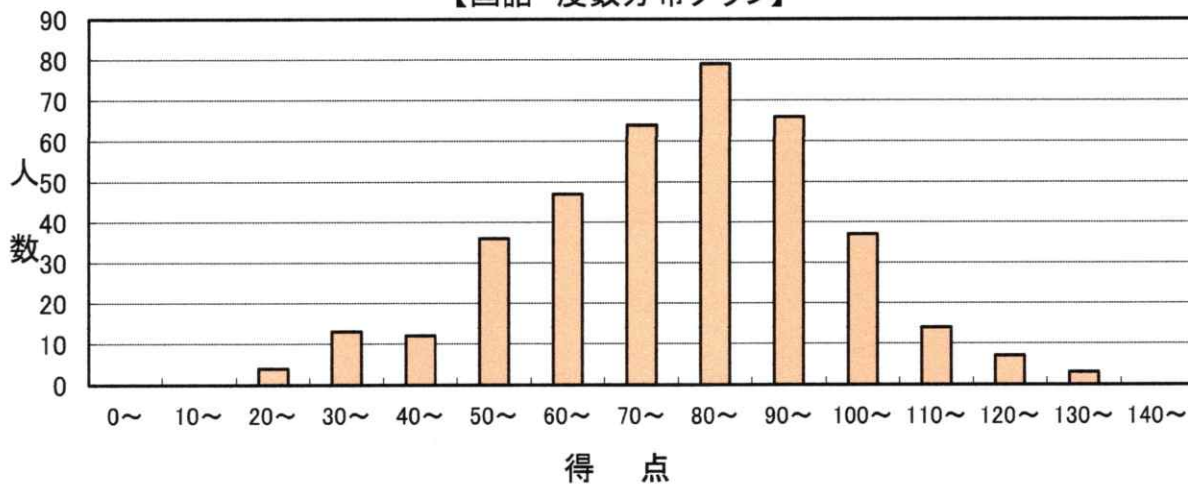
※表中の数値は、A・B・Cそれぞれの幅に入っている受験生の人数・平均点等を示しています。

2024年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日実施) 合格判定基準詳細

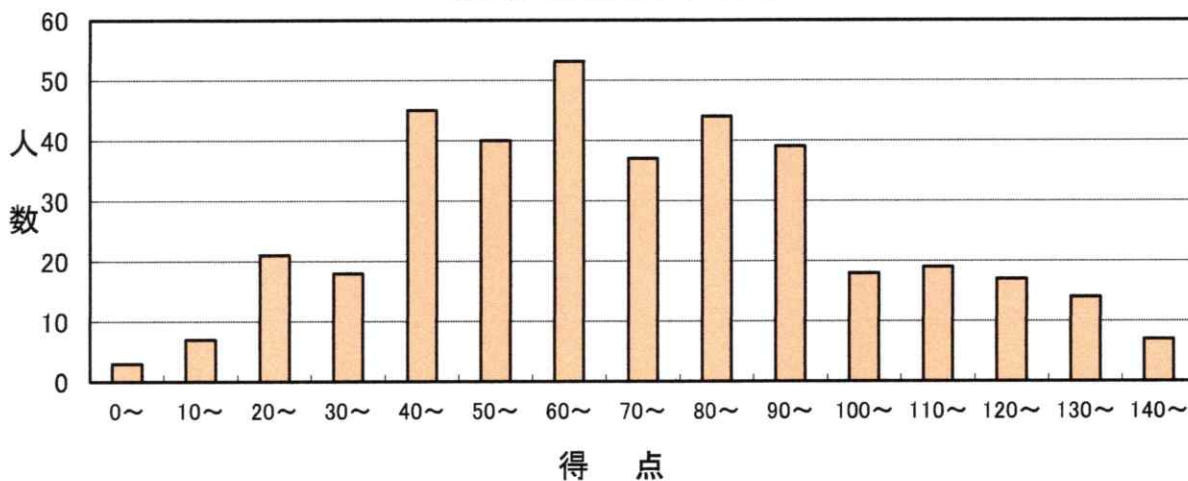
判定	内 容	2科目プレテストの基準点	
		選抜コース	進学コース
A判定 (合格安全圏) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 合格率 90~98% </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、ほぼ安全圏です。 ただし、A方式入試には理科・社会もあります。理科・社会の得点も合格には大きな影響を及ぼします。国語・算数に関しては、今の調子を維持し、体調管理にも気を配り、万全の態勢で入試に臨んでください。油断は禁物です。A~C方式までチャレンジすれば合格は確実なものとなります。	193/300	170/300
B判定 (合格可能圏) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 合格率 80%~95% </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」の可能性は大いにあります。この実力を入試本番までにさらに高めるように、より一層の努力を期待しています。 ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。 入学試験には、「自信」をもって臨んでください。また、A~C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	170/300	141/300
C判定 (有望圏) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 合格率 50%~80% </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、合格圏内に入るには今後の努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。これからの頑張り次第では、十分「合格」をねらえます。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。また、A~C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性は更に高まります。	141/300	110/300
D判定 (努力圏) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 合格率 10~40% </div>	現在の国語・算数の実力から見れば、「合格」するためには、かなりの努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。全体の得点率の高い基本問題は確実に解けるように頑張りましょう。 A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が非常に得意な生徒は、合格する可能性もあります。また、A~C方式まで粘り強くチャレンジすれば「合格」の可能性はかなり高まります。	/	/

2024年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日実施) 教科別総括

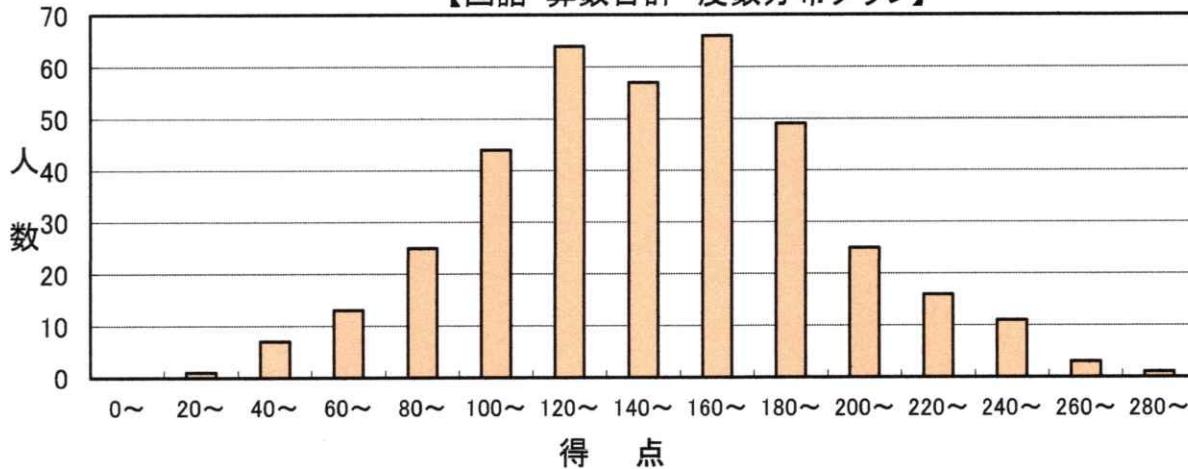
【国語 度数分布グラフ】



【算数 度数分布グラフ】



【国語・算数合計 度数分布グラフ】



国語】**◆大問一**

現代における人間が大型の建築に閉じ込められた結果、人との距離を自由に選べなくなり思考力も低下してしまったという文章でした。難解な語彙が多数出ていますが、具体例の部分を丁寧に読んでいけば対応できる問題でした。

正答率が高かった問題

問3の空欄補充の問題がよくできていました。基本的に傍線部の近くに正解となる部分がありますので、確実に本文の記載通りに抜き出すことを心がけてください。

正答率が低かった問題

問6の四十字以内で記述する問題の正答率が低かったです。少し傍線部から離れた部分に解答の要素があったので、抜き出すことが難しかったのかもしれませんが。ただ「歩くこと」についての段落は傍線部より三つ前の段落ですので、確実に解答の要素を拾ってほしかったです。

◆大問二

「ぼく」と「アズサ」の会話を中心の文章。前半部ではアズサの心の居場所はアメリカだけだとアズサ自身で感じていたが、「ぼく」との交流を通じて、今の仲間と一緒に新しい心の居場所が発見できるかもしれないという希望を抱くという点が本文の主旨です。

正答率が高かった問題

問1・2。どちらも「ぼく」の様子や心情を答える問題でした。本文の前のリード文をしっかり読み込んでいる受験生は正解できたのではないかと考えられます。

正答率が低かった問題

問9。近年増加している会話文形式の設問です。本文で読み取った内容と設問の会話文を正確に結びつけなくてはならず、出来に差がつく問題になっているようです。まず正確に文章の内容を理解すること。会話文の空欄や傍線部の前後を読み、ポイントを押さえることが重要です。

◆大問三**正答率が高かった問題**

問2の①～④。類義語・対義語の問題は言葉の知識が求められるので、日頃から地道に語彙力をつけるようにしましょう。

正答率が低かった問題

問1の①の書き取り問題。「劇薬」が難しかったようです。他には特に正答率が低かった問題はありませんでした。

◆大問四**正答率が高かった問題**

問4の①・②。慣用句・ことわざの知識を問う問題。少しでも気になったらすぐに辞書を引く習慣をつけましょう。

正答率が低かった問題

問2の四字熟語の知識を問う問題。複数の四字熟語の知識が無ければ解けない形式だったので難しかったかもしれません。ただ四字熟語に関しても基本的な言葉を出題しますので、日頃から地道に知識を増やしていきましょう。

【算数】**◆大問1 (計算問題)**

(1)～(3)は正答率が高く、よくできており、(4)で差がつかしました。(4)のような単位を変換する問題は毎年必ず出題されます。よく復習しましょう。

◆大問2 (小問集合)

(1)(5)はよくできていました。(2)は、「あきらさん」と「たけしさん」がとなり合うときの順番を考え忘れていた人が多かったです。(4)は集合算なので、ベン図を書いて情報を整理しましょう。(6)は二等辺三角形の性質を利用する問題です。アを基準①として図に書き込んでいきましょう。

小問集合は毎年、様々な分野の基礎問題を出題しています。配点もかなり高いので、解けなかった問題は自分の弱点だと思ってしっかりと復習してください。

◆大問3 (食塩水の濃さの問題)

大変よくできていました。(1)(2)は基礎的な問題なので、解けなかった人は解けるまで特訓しましょう。

◆大問4 (平面図形)

(1)(2)はよくできていましたが、(3)は全ての問題の中で最も正答率が低い問題でした。(3)はBの四角形に補助線を引くと、イ：ウを導き出すことができます。平面図形の応用問題は「等しい場所に印をつける」こと、「求められる長さを書き込む」こと、「補助線を引いてみる」ことが大切です。これらの習慣を身につけましょう。

◆大問5 (空間図形)

問題集などでは出題されないタイプの新しい問題だったため、正答率が低く、苦戦した人も多かったと思います。(1)は約半数の人が正解できていますが、補助線があらかじめ引かれているので、もう少し正答率が高くて良い問題です。(2)(3)は挑戦しない人が多かったです。円錐の展開図を理解できていれば(2)は簡単ですので、もう一度解きなおしてみてください。

◆大問6 (速さの問題)

本問題は速さに割合の要素が入っている問題のため、(1)も正答率があまり高くありませんでした。解けなかった人は、解説をよく読みましょう。